

小坂さんのタネあり巨峰まもなく入荷します。(タネ無しブドウには植物ホルモンが使われているのです)



# 風の便り



暑さもおさまり、ようやく過ごしやすい  
気候になりましたね!

2016年9月後半号



りんごの季節です。  
たくさん召し上がって  
下さい!

発行元 **オーガニックマートよこい**

住所 鎌倉市手広2-25-8 マリオンハウス1F

小さい年末へ向け  
体カキカーミ  
いたします...

TEL 0467-38-1337 FAXフリーダイヤル 0120-4513-55

よこいさん-ご-ご-

よこいさん

(メールアドレス) ogm-4513@plum.plala.or.jp



スマセン!



ブログ

にて日々の情報公開中!

秋の連休のお知らせです。

**10月23日(日) ~ 25日(火)**  
**連休とさせていただきます。**

ご迷惑をおかけして申し訳ございません。

月曜・火曜配達コースのお客様へは改めてご連絡致します。

おイ木みで  
ご迷惑をおかけ  
して申し訳ござい  
ません!



## 当店の発泡スチロールについて

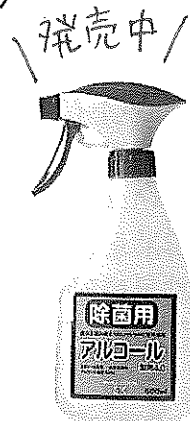


当店の保冷用発泡スチロールの箱は、ボロボロになるまで使用いたします。

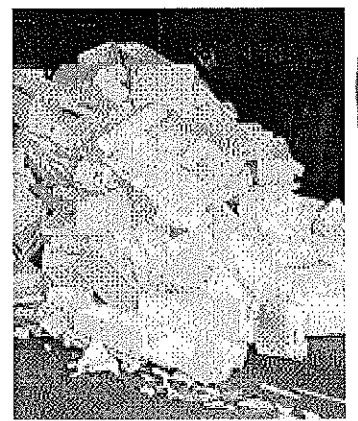
長く使うと見た目は古くなりますが、毎朝、エスケー除菌用アルコール製剤で清掃  
しています。(サトウキビ由来のアルコールです)

流通が便利になった分、日本中で多くの発泡  
スチロールが 毎日大量に消費されていま  
す。最終的には再資源化されるものもあり  
ますが、再利用にも多くのエネルギーが使  
われます。

古い発泡スチロールでビックリされる方も  
いらっしゃるかもしれませんが、どうかご理  
解をお願い申し上げます。

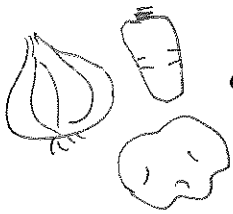


発売中!



500ml  
840円(税別)

↑  
発泡スチロールの  
ゴミの山



# みなさん、今年の北海道の農作物は大打撃、生産者の皆さんは大ピンチです！

⑤北海道



1週間に3つも台風が来るなんて！

今年の天候による九州の農作物の被害状況と、北海道の農作物被害状況の一部をお伝えしましたが、今回は今年のお天気による北海道の被害状況というか、現状をお伝えします。北海道はでっかいどう…といわれているように北海道はデカく、ひろく、気象災害も地域によって大分被害状況が異なりますが、今年のお東地域は一週間に3度台風が上陸する、という観測史上初めての事となりました。

いつも元気な内海さん

よほどじ細いの  
でしょう。  
ひんぱんに  
X-1しか  
届きません



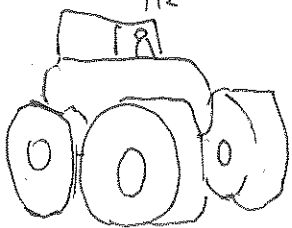
玉ねぎ・じゃが芋・人参・南瓜・にんにくなどでお世話になっている内海さんは北見市常呂町で長い間農業を営んでいます。が、今年のような経験は初めてで、大きなショックを受けました。3泊4日の避難所生活、これも初めての経験だそうです。常呂川の上流の堤防が決壊し、畑は水没し、今までに見たことのない光景が広がり、心が折れそうになったそうです。

冬の吹雪には強いのですが...



内海さんの所は豪雪地帯で冬の吹雪などには強いのですが、収穫などで忙しいさなかの度重なる台風、大雨、強風には降参。北海道の生産者の皆さんは雪解けの春から雪がぱらつき始める11月頃までが勝負です。皆さんご存知のようにじゃが芋・玉葱・人参・にんにくなどは大根やキャベツのようにその都度畑から収穫して出荷するという野菜ではなく、一時で収穫して貯蔵しておきその都度出荷します。

農機具も大まわい！（バスみたい?!）



北海道は農業規模、耕作面積がでっかいどうで、収穫などは農機具が大活躍しますが、その農機具も面積に比例してでっかいどうで、畑がぬかるんでいると機械が入れず、収穫も遅れます。内海さんもいつもですとじゃが芋・人参の出荷も始まっているのですが、今年は台風・大雨の影響でじゃが芋も病気が発生し、いつもの年よりも風乾を長めにし、しっかり選別をしなければ出荷出来ない状況です。

人参は畑で水に浸かっていた影響で「ナンブ病」が発生しました。ナンブ病は中の実が痛み、腐る病気で、切って中を見た時にわかる病気で、外側からはわかりにくく、内海さんは「ナンブ病が怖くて出荷出来ない」と人参の出荷を控えていましたが、厳選して傷みがないと思われる人参の出荷を始めました。が、収穫量が落ちなおかつ、泣きの涙で収穫した人参が病気で出荷出来ない。出荷量は例年の半分あったらいいとこ…との事でした。人参に限らず生活を支える玉葱・じゃが芋・南瓜も同じ様な状態です。



外側も  
とけやすい



七割と  
中か  
とけている



しばらくの間 野菜の病気も増えると思います。  
ご理解いただけると幸いです...

一生懸命に時間と手間と愛情をかけ、食べる人たちの顔を思い浮かべて育てた農作物が一瞬とは言いませんが数日の天気具合で今までに見たことも経験したことも無い光景、状況に追い込まれる。これでは心が折れる…非常に厳しい状況です。そんな時内海さんに孫が誕生しました。内海さんは息子さんご夫婦との家族経営ですが、苦しい時に生まれた孫の顔を見て気象災害に負けるか…と、心折れることなく頑張っています。

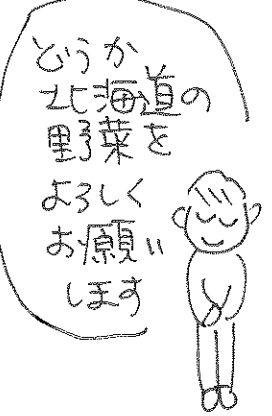
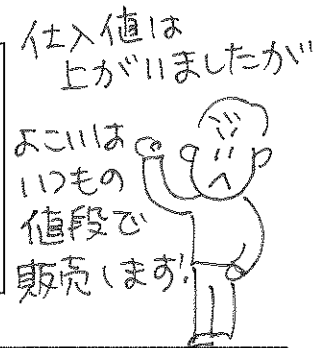


収穫量は激減



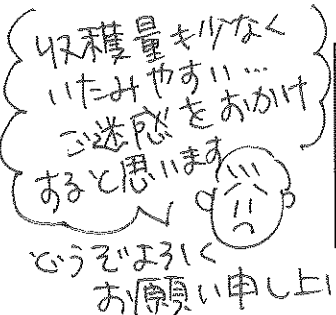
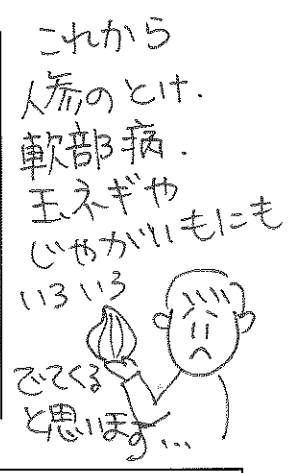
しかし皆の衆、現実には厳しく、生計を支える野菜の収穫量が激減、このままでは生活が成り立たないほどの危機です。先日、内海さんから連絡があり、おそろおそろ「横井さん、申し訳ないのですが今年の野菜の価格を少し上げさせてくれませんか」との申し出がありました。例年の1.5倍ほどの価格で、厳しい数字ですが、困ったときはお互い様で、今年はその価格で行くことになりました。

But皆の衆、小売価格に反映するわけにはいかないもので、ちょ～厳しいですが、今年はやこいもグッと辛抱。経営危機になったら値上げも考えますが、何とか例年通りの価格で行くつもりです…ああ～いつもそうだけど儲からないな～自然食屋は…アベノミクスの恩恵は何処え…♪とお～い・とお～い渚に消えた～♪(わかるかな、わかんねえーべな♪)



内海さんの例をお伝えしましたが、ほかにもお世話になっている北海道の生産者の皆さんも同じ様な状態です。小清水産直センターの皆さんからも便りが届きました。小清水町は斜里郡にあり、網走町にも接し、網走方面から国道244号線を走り、市街地に向かう約5kmの直線道路。その名も「じゃがいも街道」がよく知られています。7月になると、白やピンクの可憐なじゃがいもの花が一面に広がり、北海道らしい雄大なスケールで、道行く人も足を止め、見とれてしまうほどのジャガイモ畑が広がっています。

小清水では台風による大きな被害や人的な災害は発生しませんでした。台風の大雨で水に浸かった畑で一斉に病害が大発生し、非常に深刻な状況です。特に人参は全滅状態で、収穫を断念しました。ジャガ芋は見た目はそれほど悪くないように見えますが、病気の発生が多く、今すぐ出荷できる状態ではありません。今しばらく様子を見て出荷時期の判断をしますが、出荷量の目安はついていません。玉ねぎも台風後の病気の感染と、雨による玉の汚れが発生しています。玉を調べてみると「尻腐れ」の病状が数多くみられ、今後どの程度広がるか予想がつかない状態です。



台風で状況が一変してしまいました。水さえ引けば…と、あまり大きな被害は予想していませんでしたが、畑の作物には大変なことが起きていました。今後の様子を見なければ判断が難しいこともありますが、今後は新規の注文にも応えられない…という小清水産直さんの状況です。

# 自然食屋の ちょっと ひとこと

横井 川三

皆の衆、今年は北海道、特に道東の生産者の気象災害が深刻で、農作物被害にともない生活の大ピンチでもあります。繰り返しになりますが、内海さんは降参と漏らしておりました。農作物の生育・収穫の一番大事な時季&生活を支える一番大事な肝心要のこの時季に台風などのよる防ぎようもない気象災害、心が折れそうになりながら心強く、現状に立ち向かっていかなければなりません。

これだけ日本中に  
自然災害による  
被害が  
続くと...



日本は先進国と呼ばれる中でも食料自給率が低い国です。逆に考えると食料品の輸入が多い国です。様々な理由があると思いますが、国内で作るより輸入した方が安い...という、経済的理由も大きな要因と考えられます。おのおの方、確かに高いより安い方がいいかもしれませんが、ちょっと待って！そろそろ経済的理由というのも考え直した方がいいような状況ではあ～りませんか！

大豆や小麦、トウモロコシなどの自給率は一けた...他の農作物も輸入量の多さが気になりますが、ここ数年の気象災害は日本だけではなく、世界中で起きています。気象災害による農作物被害を防ぐ方法は無いに等しく、近年の気象災害は想定外の災害を引き起こします。日本でも観測史上初、経験したことの無い様な、などの言葉がよく使われるようになりました。

日本の  
農作物の  
未来が心配



いつでも  
あるのか

あたり前だった野菜たち... 大セン干びです!

♪都会では～気象災害による電車の遅れなどが話題になるけど～♪農作物生産地では～畑や田んぼが被害甚大～すぐに回復しない～♪(大分無理があるけど陽水風...野菜がない)。少しばかり支離滅裂・何が言いたいのかわからない状態の文脈になりつつ、皆さん、今、北海道の生産者は大ピンチです。

北海道は日本の食を支える大産地です。北海道の大ピンチは日本の食の大ピンチでもあります。北海道産は収穫量が少なくなり、当然価格も高くなりますが、今、ジャガ芋・玉葱・南瓜などはまだ他の産地の物もあり、また、現在進行形で輸入もされており、別に～とそれほど深刻な問題でもないかもしれませんが、皆の衆、ここで再び北海道は日本の食の大産地で日本にとって欠かせない大事な農作物産地です。

熊本の地震  
茨城の川の決壊  
日本各地で  
おこる土砂くずれ  
北海道の  
洪水  
など...



じゃあ輸入あれはいい?!  
こういう状況は  
世界各地で  
起こって  
いるのです

私・横井は妄信・妄想かもしれませんが、10年後(事情によってはもう少し早まるかも)は天候異変により世界的食糧危機、水不足が起きると固く信じています。近いうちに食糧の輸入が困難になると思っています。そんな時に頼りになるのは自国の農産物です。

今年、北海道の生産者の皆さんは気象災害にあい、本当に困っています。こんな時は皆さんの力が必要です。困ったときはお互い様です。こんな時こそ北海道産の農作物買う事が生産者を勇気づけ、育て、力強くしていきます。今の行動は将来の大きな結果につながります。守ろう日本の農業を...!

あつあたりま  
ではない...

